

都市再生整備計画 事後評価シート  
藍住地区

令和3年2月

徳島県藍住町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	徳島県	市町村名	藍住町	地区名	藍住地区			面積	30ha
交付期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	2,384.3(百万円)	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	○高次都市施設(地域交流センター)【(仮称)藍住町文化ホール・公共施設複合化事業】 ○地域生活基盤施設(広場)【交流・防災広場整備事業】							
	提案事業	○なし							
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	○なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	○道路【町道勝瑞中富線整備事業】			ホールに安全にアクセスできるよう道路を新設し、当該道路と町道勝瑞中富線本線との交差点部分の安全と渋滞緩和を図るため、本線の改良を行った。			影響なし
	提案事業	○なし							
交付期間の変更	当初	平成27年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし				
	変更	平成27年度～平成31年度							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	文化ホール利用者数	人/年	5,400	H25	10,000	H31	19,218 (12,019)	○		あり	公共施設の複合化を図り、文化交流拠点施設となる文化ホール、緑地広場を整備したことで、文化芸術活動を通じた世代間交流やコミュニティの活性化を促すことができた。また、周辺道路や駐車場の整備により、安全・円滑にアクセスできるようになり、来館しやすい環境となった。 評価値における( )内の値は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中止となった貸館や自主事業における当初予定利用人数である。	—
										なし		
指標2	子どものイベント等参加者数	人/年	1,700	H25	2,500	H31	2,531 (1,000)	○		あり	子どもでも楽しめるホールの自主事業や貸館によるイベントが定期的で開催されたことにより、参加者数の増加につながった。また、子ども達の文化芸術への関心を高めるため、学校へのアウトリーチ活動等を行った効果が出た。 評価値における( )内の値は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中止となった貸館や自主事業における子どもの当初予定利用人数である。	—
										なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

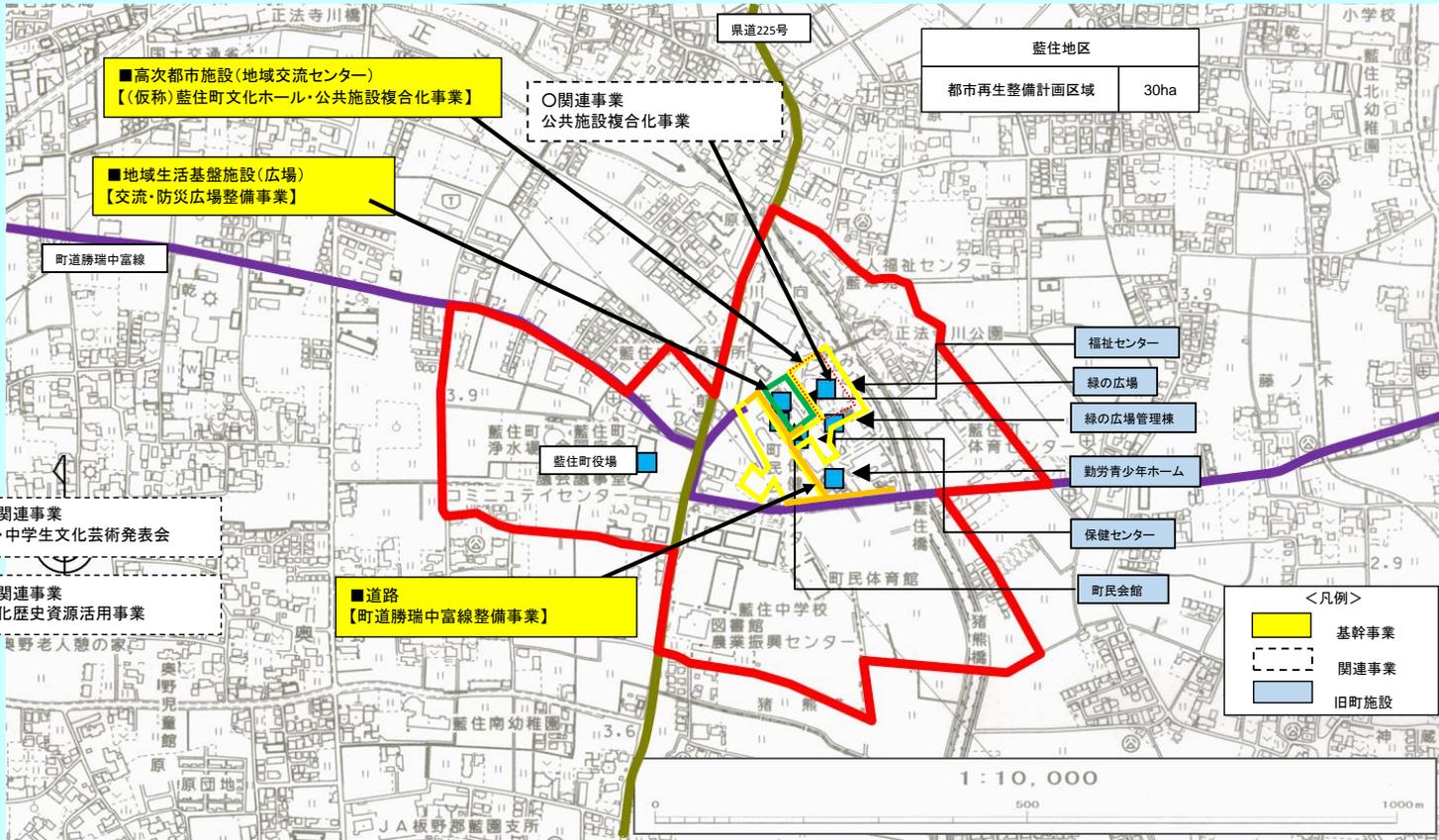
4)定性的な効果発現状況  
 ・文化ホールで開催する様々な分野の自主事業への反響が大きく、住民の文化・芸術に対する関心が想像以上に高いことがわかった。  
 ・町内だけでなく、町外の企業や各種団体の会議、学習、研修等の場として利用されるようになった。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	住民参加プロセス	実施状況	実施状況	
	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	
	住民参加プロセス		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
	持続的なまちづくり体制の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

## 様式2-2 地区の概要

### 藍住地区(徳島県藍住町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値	
・文化芸術活動を通じて自らを表現できるまちづくり ・世代間交流を促すまちづくり	文化ホール利用者数	単位:人	5,400 H25	10,000 H31	19,218	R2
	子どものイベント等参加者数	単位:人	1,700 H25	2,500 H31	2,531	R2



#### 基幹事業:高次都市施設(地域交流センター)



#### 基幹事業:地域生活基盤施設(広場)



#### 基幹事業:道路(町道勝瑞中富線整備事業)



#### まちの課題の変化

・公共施設の複合化や周辺道路、駐車場の整備により、利用者の利便性が向上し、文化交流拠点施設として多くの人に利用された。  
・文化交流拠点施設となる文化ホールは誰もが利用しやすい環境となっており、幅広い方々に文化芸術を提供し、町の文化振興を図ることができた。また、緑地広場の整備により、子ども達が多く集まる交流・憩いの場となっており、コミュニティの活性化を促すことができた。  
・文化交流拠点施設となる文化ホールで、高度な文化芸術に触れることができる公演や各種講座、アウトリーチ活動など多様な取り組みを展開し、また、文化活動や成果発表の場を提供することで「文化の薫るまちづくり」を推進することができた。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・少子高齢化に伴い、将来を担う子どもたちに優れた文化や芸術を定期的に触れてもらうための場所や機会をこれまで以上に提供していく。  
・複合施設の強みを生かし、保健福祉事業と文化芸術事業を組み合わせることで、住み慣れた地域の中で多くの人が楽しみながら、自立して暮らしていけるまちづくりを目指す。  
・自主事業時に行うアンケート結果をもとに地域文化創造拠点として、幅広い年齢層の方に優れた文化や芸術に触れてもらい、自らを表現できる場所や機会を提供するとともに、文化ホールを核とした地域間・世代間交流を推進していく。